



パイロット訓練最前線
ルーキーたちが舞う九州の空

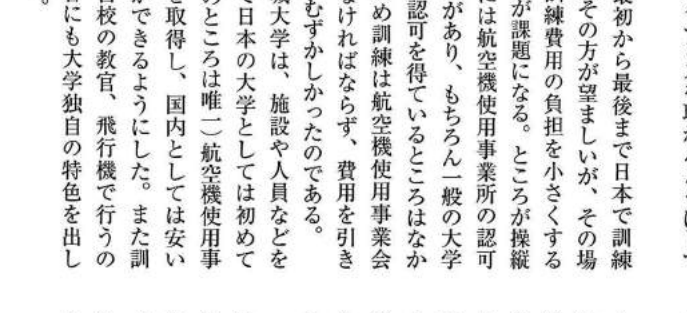
学生一人一人に寄り添った指導で 熊本育ちのプロパイロットを 育てる

取材・阿部光典

航空業界に多くの卒業生を送り出した熊本空港。2008年には工学部宇宙航空システム工学科に航空操縦学専攻を開設して、エアラインパイロットをめざす学生たちの教育を開始した。経験豊かな教授陣、充実した施設と訓練機、そしてエアラインの大型機が離着陸を繰り返す熊本空港の環境は、学生たちを確実にプロパイロットへの道に導いている。訓練機のエンジン音響く空港キャンパスの様子をお伝えしよう。

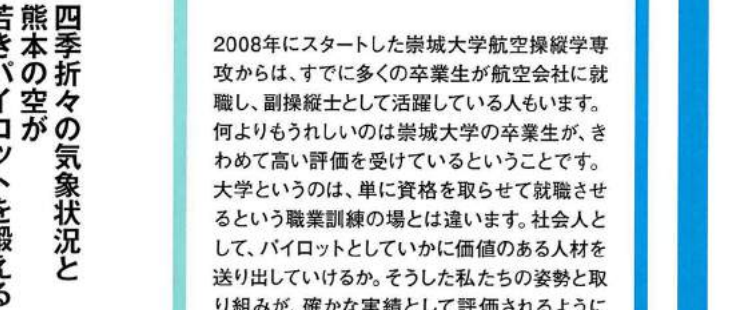


航空操縦学専攻の学生は2年次以降、熊本空港に隣接した空港キャンパスに入学を移す。ここはかつてANAが熊本県員訓練所としてパイロットの訓練を行っていたところだ。



空港キャンパス内には学生寮もあり、航空整備学専攻の学生と習熟を共にする。

大学が一貫して教育を実施する。熊本空港で唯一の教育環境。航空整備学専攻の学生は、2年次以降、熊本空港に隣接した空港キャンパスに入学を移す。ここはかつてANAが熊本県員訓練所としてパイロットの訓練を行っていたところだ。航空整備学専攻の学生は、2年次以降、熊本空港に隣接した空港キャンパスに入学を移す。ここはかつてANAが熊本県員訓練所としてパイロットの訓練を行っていたところだ。



渡辺武憲さん
崇城大学 工学部 宇宙航空システム工学科
航空機操縦学専攻 本部長 教授

2008年にスタートした崇城大学航空操縦学専攻からは、すでに多くの卒業生が航空会社に就職し、活躍している。何より高い評価を受けている。社会人として、パイロットとしての価値のある人材を送り出している。パイロットとしての価値のある人材を送り出している。パイロットとしての価値のある人材を送り出している。



空港キャンパスには飛行するためのさまざまな訓練設備が整っている。



実機訓練とともにFTDによる訓練も併用して実施。3年次の飛行訓練を行うことは、現在のパイロット養成教育に欠かせない。



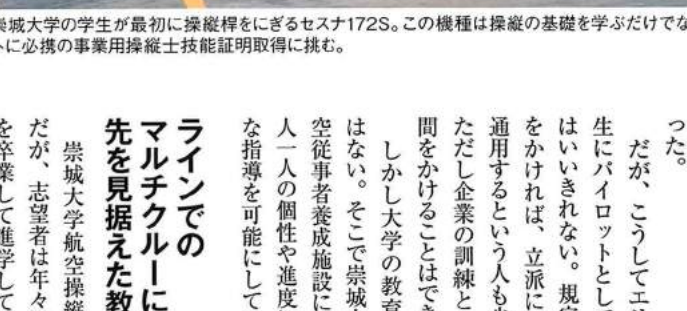
事務用操縦機性能試験、多発エンジン、計器飛行証明というエアラインパイロットに必須のライセンスを取得するだけでなく、ラインでの運航を見据えたボーイング737NGのFTDを使用し飛行訓練も行っている。



コピットの計器や各種バー、スイッチなどが再現されているボーイング737NGのFTD。在空中にジェットの機体の特性を学ぶのは崇城大学ならではだ。



空港キャンパスには飛行するためのさまざまな訓練設備が整っている。



実機訓練とともにFTDによる訓練も併用して実施。3年次の飛行訓練を行うことは、現在のパイロット養成教育に欠かせない。



事務用操縦機性能試験、多発エンジン、計器飛行証明というエアラインパイロットに必須のライセンスを取得するだけでなく、ラインでの運航を見据えたボーイング737NGのFTDを使用し飛行訓練も行っている。



コピットの計器や各種バー、スイッチなどが再現されているボーイング737NGのFTD。在空中にジェットの機体の特性を学ぶのは崇城大学ならではだ。



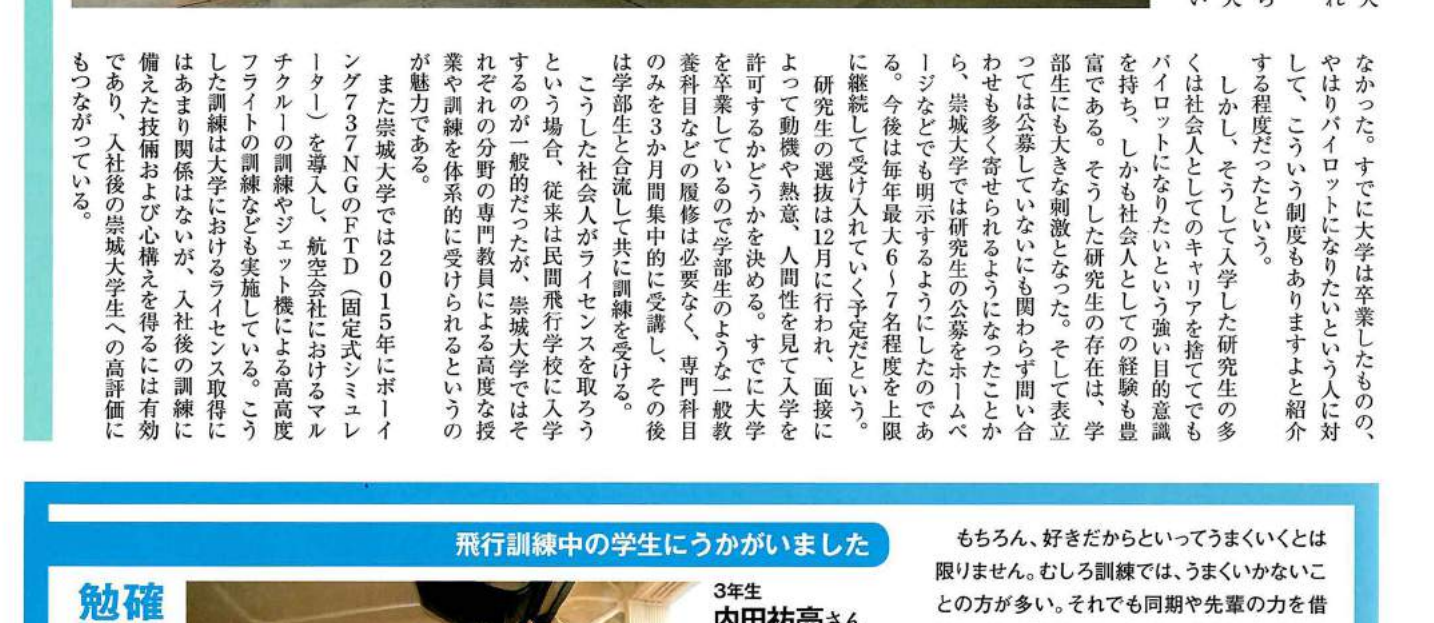
空港キャンパスには飛行するためのさまざまな訓練設備が整っている。



実機訓練とともにFTDによる訓練も併用して実施。3年次の飛行訓練を行うことは、現在のパイロット養成教育に欠かせない。



事務用操縦機性能試験、多発エンジン、計器飛行証明というエアラインパイロットに必須のライセンスを取得するだけでなく、ラインでの運航を見据えたボーイング737NGのFTDを使用し飛行訓練も行っている。



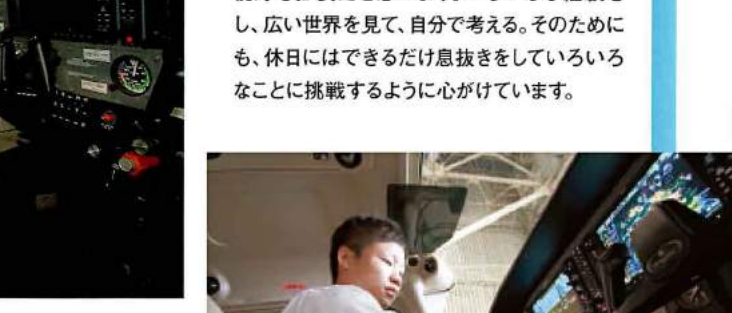
コピットの計器や各種バー、スイッチなどが再現されているボーイング737NGのFTD。在空中にジェットの機体の特性を学ぶのは崇城大学ならではだ。



空港キャンパスには飛行するためのさまざまな訓練設備が整っている。



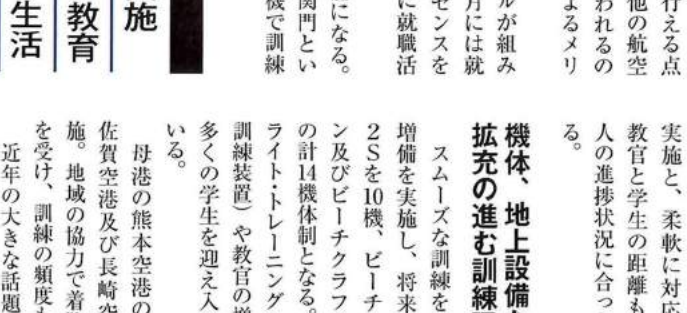
実機訓練とともにFTDによる訓練も併用して実施。3年次の飛行訓練を行うことは、現在のパイロット養成教育に欠かせない。



事務用操縦機性能試験、多発エンジン、計器飛行証明というエアラインパイロットに必須のライセンスを取得するだけでなく、ラインでの運航を見据えたボーイング737NGのFTDを使用し飛行訓練も行っている。



コピットの計器や各種バー、スイッチなどが再現されているボーイング737NGのFTD。在空中にジェットの機体の特性を学ぶのは崇城大学ならではだ。



空港キャンパスには飛行するためのさまざまな訓練設備が整っている。



実機訓練とともにFTDによる訓練も併用して実施。3年次の飛行訓練を行うことは、現在のパイロット養成教育に欠かせない。



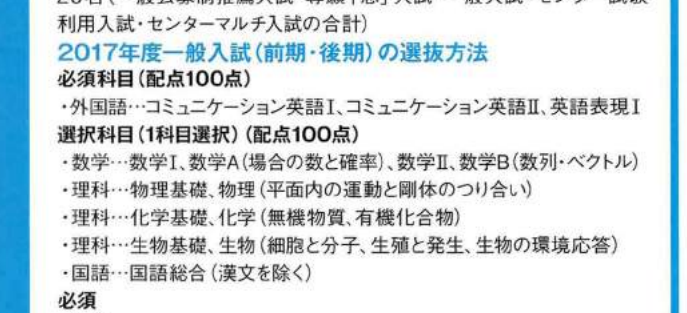
事務用操縦機性能試験、多発エンジン、計器飛行証明というエアラインパイロットに必須のライセンスを取得するだけでなく、ラインでの運航を見据えたボーイング737NGのFTDを使用し飛行訓練も行っている。



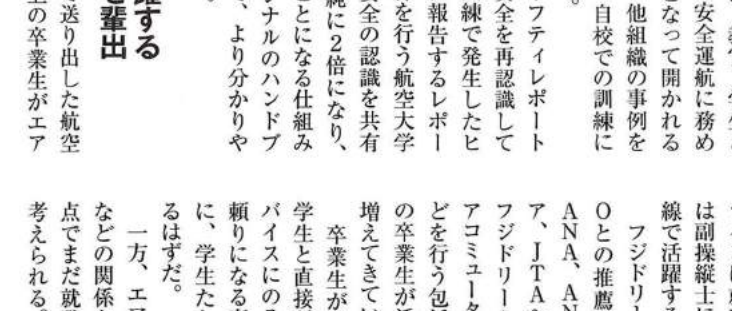
コピットの計器や各種バー、スイッチなどが再現されているボーイング737NGのFTD。在空中にジェットの機体の特性を学ぶのは崇城大学ならではだ。



空港キャンパスには飛行するためのさまざまな訓練設備が整っている。



実機訓練とともにFTDによる訓練も併用して実施。3年次の飛行訓練を行うことは、現在のパイロット養成教育に欠かせない。



事務用操縦機性能試験、多発エンジン、計器飛行証明というエアラインパイロットに必須のライセンスを取得するだけでなく、ラインでの運航を見据えたボーイング737NGのFTDを使用し飛行訓練も行っている。



コピットの計器や各種バー、スイッチなどが再現されているボーイング737NGのFTD。在空中にジェットの機体の特性を学ぶのは崇城大学ならではだ。



空港キャンパスには飛行するためのさまざまな訓練設備が整っている。



実機訓練とともにFTDによる訓練も併用して実施。3年次の飛行訓練を行うことは、現在のパイロット養成教育に欠かせない。